

新型コロナウイルスの流行により、様々なイベントが延期・中止になっています。イベントを準備している中で、このような感染症の流行、食中毒の蔓延、災害の発生、講師や主催者を巻き込む事故など想定外のトラブルが発生したとき、どのように対応すればよいのでしょうか？

### 1 実施の可能性を見極める

一口に想定外のトラブルと言っても、講師や主催者が巻き込まれた事故のように、代役や代案を立てればイベントを予定通り実施できる解決の見通しが立ちやすいものもあれば、現在流行している新型コロナウイルスのように、いつ収束するのかわからず、解決の見通しが立ちにくいトラブルもあります。トラブルの性質によって、実施の可能性を見極めましょう。

### 2 実施・延期・中止の判断を下す日を決める

実施・延期・中止の判断を下す日は、開催日から準備にかかる期間を逆算して決めましょう。できるだけ長くトラブルの解決を待てるように、準備期間を削減することが大切です。そのために、イベント規模の縮小や業者に発注する予定だったものを内部で作成するなどの工夫をしましょう。例えば、業者に作成を依頼する予定だった広報物を内部で作成すれば、発注～デザイン決定までにかかる時間を削減することができます。

### 3 実施・延期・中止の判断をし、告知する

検討の結果、延期もしくは中止という判断になった場合は、イベントの規模にもよりますが可能な限り早く、遅くとも開催日の1～2週間前には延期・中止の広報ができるように準備することをおすすめします。下記を参考に準備を進めましょう。

#### 延期する場合

延期をすれば実施が見込める場合は、講師やゲストとの日程調整や会場の予約変更等を行い、予算を見直す必要があります。費用が増えるなら、どのようにしてその費用を賄うのかを検討。日程や会場が決まったら、まずは申込者や関係者へ連絡、次に広報物の差し替えをしましょう。

#### 中止する場合

延期をしても収束の見通しが立たない場合は、講師や会場、広報物等の予約を全て取り消す必要があります。キャンセル料等を含めた費用をどのように賄うのか検討すること。参加費を既に徴収しているなら、返金方法も考えなければなりません。準備が整ったら、まずは申込者や関係者に連絡、その後中止の広報をしましょう。

#### この団体ができること

## 私たち、「向日葵の会」は 摂食障害の子をもつ親のサポートができます！

摂食障害の子をもつ親御さんたちの心を救うために活動しています。座談会の開催や、摂食障害を通して見えた家族のあり方をお伝えすることができます。ご本人やご家族の参加も可能です。



#### 協力してほしいこと

摂食障害の子をもつお母さんの生の声を一緒に聞いてみたい方を募集しています。

#### 活用しよう！協働マッチングリスト

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります！



#### センターからのお知らせ

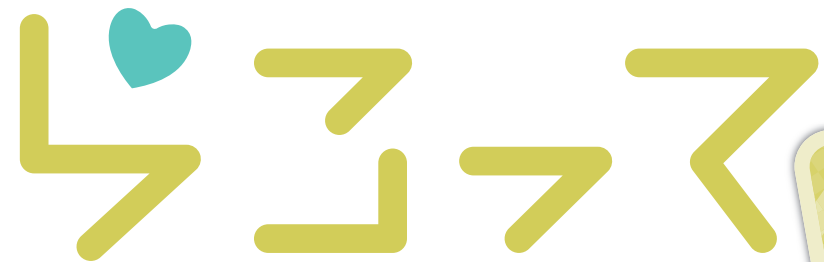
## 新型コロナウイルスの影響に伴う NPO法人の社員総会開催や 事業報告書の提出について

社員総会の開催が難しい場合や、事業報告書などの提出が遅れる場合についての対応をご案内します。

- 1 書面や電磁的記録による社員総会の開催や「持ち回り決議」は、定款にその定めがあれば可能です。まずは定款をご確認ください。
- 2 事業報告書の提出が遅れそうな場合は、市民協働課までご連絡ください。
- 3 みなし会議など総会の開催方法についてご不明な点がございましたら、まずはご相談ください。

#### お問い合わせはこちら

長岡市市民協働推進部市民協働課  
Tel. 0258-39-2291  
Mail. simin-kyodo@city.nagaoka.lg.jp



Racotte  
vol.89

発行 ● ながおか市民協働センター

2020  
5  
FREE

#### 今月のインタビュー

## チャレンジを応援するバリスタ 青柳拓郎さん

活動地域  
長岡



活動分野 | まちづくり  
団体での役割 | リンクマン  
得意技 | 園芸  
弱点 | スポーツでの感動シーン

## 里山の元気印おばちゃん 星野京子さん

活動地域  
山古志



活動分野 | 自然環境  
団体での役割 | ムードメーカー  
得意技 | 社会的でおしゃべり  
弱点 | ヘビ

#### 活動PickUp!

- 子どもみらい食堂
- 『かんじてみよう。』実行委員会
- なが100オンライン実行委員会
- ろうきん長岡支店・長岡北支店

#### 市民活動・虎の巻

『トラブルによるイベントの延期と中止』

#### この団体ができること

私たち、「向日葵の会」は  
摂食障害の子をもつ親のサポートができます！

毎週月曜日17時から放送中！  
**つながるラジオ**  
ながおか市民活動紹介番組    FMながおか 80.7MHz    10分程度放送 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト  
**コライト、見ないと！**  
協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。    <https://nkyod.org>    コライト



## 地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きました。

### 青柳 拓郎さん(38歳)

カフェ店主／NIIGATA COFFEE FESTIVAL実行委員会

1981年長岡市生まれ。専門学校生時代に研修で訪れたロンドンのスターバックスコーヒーの雰囲気衝撃を受け、カフェに興味を持つ。



●コーヒーフェス当日はスタッフ全員で円陣を組んで一体感を高めて臨む。



#### 活動の根っこ

好きをカタチに！ 青柳 拓郎

## “コーヒー”を通じた地域活性！ 未来につながる化学反応をおこす

「こんにちは!」。青柳拓郎さんが代表を務めるコーヒースタンド「GOOD LUCK COFFEE」は青柳さんとの会話を楽しみに通うお客さんでいつも活気にあふれています。「長岡・新潟にカフェ文化を根付かせたい」気持ちから2014年にお店をオープンし、日本各地の選りすぐりのカフェを招いた「NIIGATA COFFEE FESTIVAL」を2017年にアオーレ長岡で初開催。店舗経営のみならず“コーヒー”を通じた地域活性化にも積極的に取り組んでいます。2020年5月には過去2回から大きくバージョンアップした第3回目の開催を計画していました。\*

「2回の開催後は見聞を広げるため、日本各地のコーヒーフェスに参加したり、地元長岡を改めて知るための期間を自分に設けたりしました」と青柳さん。その中で地元にも知らなかっただけで素晴らしい人材や資源、技術があることに気づき、それぞれの身近にある可能性に触れる

機会になってほしいと願いを込めて「Discover unknown local possibilities.(地域の未知なる可能性を発見する)」を第3回目のコンセプトに掲げました。カフェはもちろん、酒蔵やアーティスト、飲食店とも連携して地域の資源・可能性を体感する場づくりを目指しました。「何も無い場所と卑下するのではなく、もっと地元に誇りを持つ人が増えてほしいです」。

バリスタとしてもイベント企画者としてもベースにあるのは「人が好き、地元が好き」という想い。「人や地域をつなぎ、新たな発見をもたらすのにコーヒーはもってこいのツール。コーヒーを介したくさんの化学反応が生まれ、長岡がもっと面白い街になってくれれば」。青柳さんはいつでも新たな可能性やチャレンジを「GOOD LUCK」と応援しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催延期となりました。

### 星野 京子さん(79歳)

農家民宿オーナー／山古志畑の学校、かぐら南蛮保存会

1941年魚沼市生まれ。山古志で農家民宿を営む。京子さんご夫妻を含む家族7人が同居し、にぎやかな毎を送っている。



●山古志とオーど直売所(山古志支所敷地内)は毎週日曜の営業。(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休業中)

#### 活動の根っこ

これから元気でいたい 星野京子

2014年の東日本大震災をきっかけに、住民は地域外の人や団体との関わり的重要性を考えるようになりました。そんな中、外の人との交流の経験があった星野さんは率先して活動に協力してきました。

「かぐら南蛮保存会」では、中学生の体験学習の受け入れ、「畑の学校」では震災被災当時から交流のある歌手小林幸子さんと共に「幸子田」の米作りなど、次の世代を担う子どもたちや山古志のファンとなる外部の人々と共に活動の輪を広げています。

「私は地域の行事や集まりには積極的に出ているし、その時は近所の人にも声をかけるようにしています。人と会うことが生きる張り合いになることを、もっと多くの方に知ってほしいですね」。

そこに居合わせるだけで場の雰囲気が和む。インタビューの中でもそんな魅力を星野さんから感じる事ができました。

## 呼ばれたら断らない！ 集まってワイワイするのが楽しみ

「人に会るのが好きなんです」。山古志で農家民宿を営む星野京子さんは、集落内の野菜直売所、スキー場の食堂、かぐら南蛮の種の保存と栽培の継承等を目的とした「山古志かぐら南蛮保存会」、集落を越えた共同耕作グループ「山古志畑の学校」など、様々な集まりに積極的に参加。持ち前の明るさで、どの集まりでもムードメーカー的な存在として活動をもり立てています。

養鯉業を営む家に嫁いだこともあり、錦鯉の関係者を毎年自宅に泊めていたという星野さんは、1989年のスキー場オープンに合わせて農家民宿を始めました。それからは、錦鯉関係者に加え、農泊体験をしに来る学生や、山古志の美しい風景を撮る写真家といった常連客ができ、「外の人との交流の楽しさを知りました」と言います。

もともと山古志は身内の結束が強く、集落から外の接触すらほとんどない地域でした。しかし、



## 活動PickUp!

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介



### 子どもみらい食堂

子どもたちにいろんな機会を提供



毎月第4土曜日に、長岡聖契キリスト教会を借りて子ども食堂を開いています。食事の提供の他に「機会の貧困」をなくすため、毎回子どもたちが楽しめる企画と一緒にを行っています。昨年4月からは、食後に英語の学習指導も始め、楽しみながら英語に親しめる機会を提供しています。「人と人がつながる場」は必要だと強く感じているので、今後も食事の提供だけではなく、居場所づくりや学習指導など、継続していきたいです。

長岡

### 『かんじてみよう。』実行委員会

中高生が本音で対話。自分発見の場をつくる



哲学対話とは、哲学者の思想を教えたり抽象的な問題について議論したりするのではなく、思考力を養うための手法。普段1人で考えていても気づかないことに気がつき、一人一人が視野を広げることができます。哲学対話を通して自分や世の中を見つめ直したり、自分の考えや相手の考えを知ること、「自分の見方が変わる」体験を同じ世代にもしてほしいと高校生6人で団体を立上げ、ワークショップなどの活動をしています。

長岡

### なが100オンライン実行委員会

オンラインでつなぐ笑顔とおつまみ



現在、新型コロナウイルス感染症の影響が市内の飲食店に大打撃を与えています。長岡を食で元気にしようと頑張ってきたお店を少しでも支援できる方法はないかと考えたのが、お店からテイクアウトした同じおつまみを食べながらネットで会話をするというスタイルです。先の見えない現状を悲観するだけでなく、今できることを楽しく取り組んでみようというものです。日常が戻ってきたら、きっと新しいつながりが生まれると信じて取り組んでいます。

長岡

### ろうきん長岡支店・長岡北支店

地域と共に持続可能な社会をめざす



「ろうきん」は1952年に、働く仲間がお互いを助け合うために資金を出し合いにつくった金融機関です。金融業の他に地域活動として、これまで長岡市内で小中学生向けの「お金の学校」や「SNS学習会」を子ども食堂などで開催してきました。これまで「ろうきん」が取り組んできた活動は、SDGsに結び付くものが多く、これからも様々な活動を通じて、持続可能な社会をつくるために取り組んでいます。

長岡

## みんなの声

投稿テーマ 「長岡みんなのSDGs」

投稿方法

投稿フォームを使う  
協働センター窓口で投稿する

QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。  
協働センター窓口には設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

投稿  
随時募集中



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の目標"SDGs"に関する投稿を掲載しています。

投稿者  
ハナさん

我が家でSDGsの目標達成に何ができているかな?と少し考えてみました。お風呂の残り湯で洗濯しているくらいはありませんでした。つついエコバックを忘れて買い物に出しまったり、暖房もガンガン使ってしまうので、春からはもう少し意識して生活していこうと思います!

SDGsに関する詳細は、令和2年度らこって4月号の「虎の巻」をご覧ください。